

# 理工学部におけるダイバーシティ & インクルージョン教育の新展開と実践的でインクルーシブな学びの場の創出

## 【取組概要】

本取組「理工学部におけるダイバーシティ & インクルージョン教育の新展開と実践的な学びの場の創出」では、理工学部においてダイバーシティ（Diversity；多様性） & インクルージョン（Inclusion；包摂性）教育を一層推進するために、(1) 理工学部カリキュラム内にダイバーシティ & インクルージョン (D&I) 関連科目群を新設し、(2) 同科目で得た座学的な知識を、他の教員・学生との交流を通じた学生の主体的で協働的な学びに昇華するためのインクルーシブな学びの場を提供する。これらの取組により、建学の精神「實地應用ノ素ヲ養フ」に基づく実践的な知の場を創出し、さらに理工学部ディプロマポリシー (DP) に掲げる理学及び工学についての専門的な学びと合わせて、現代社会が抱える複雑な課題に対して学際的な観点で問題解決することができる人材を養成する。

## 【期待される効果】

本取組による「理工 D&I 教育」(D&I 関連科目群開設および実践的でインクルーシブな学びの場の創出) によって、以下の様な効果が期待される。

まず「理工 D&I 教育」においては、学際的な D&I の領域についての包括的な学びの場を創出することで、学生が、一人で学びを深める、他の学生・教員・スタッフとともに学ぶ、さらには座学として習得した学びを社会的行動やイノベーションにつなげていく、という循環的かつ主体的で協働的な学びの機会を得ることができる。

D&I教育のもう一つの側面は、大学における教育そのものが多様で包摂的であることを保証するということ、すなわちマイノリティ学生も安心して学び、発言できるインクルーシブな教育の場を構築することである。本取組においては、「後楽園ダイバーシティラウンジ」を中心として、ダイバーシティセンターのコーディネーターの支援も得ながら、より平等で差別のない学びを提供することが可能になる。

具体的な目標は、2024 年度から D&I 関連科目群が新設され、上記の効果が十分に発揮されるための学修支援体制を整えることにより、留学生を含めた全理工学部生に対して「理工 D&I 教育」を提供することである。加えて、これまで WISE Chuo の取組によって社会的に広く認知され、2023 年度からのお茶の水女子大学との学生交流に関する協定にも結びついた理工学部独自の女性・マイノリティ学生への学修支援を、「理工 D&I 教育」の文脈でより現代的に一層充実させることで、より広く社会の要請に応える人材の養成・輩出を可能にし、中央大学理工学部の社会的責任を高い透明性をもって果たすことも本取組の目標である。

## 【取組実績】 (2023 年度末時点)

### 1. D&I 関連科目群の設置

理工学部では 2024 年度から、ダイバーシティ & インクルージョン (D&I) 関連科目として、「ジェンダー・セクシュアリティ論 I・II」、「多文化共生論」、「障害学」の 4 科目を新設した。それぞれ、本学ダイバーシティセンターの「ジェンダー・セクシュアリティ領域」、「グローバル領域」、「障害領域」の 3 領域に対応している。これらの科目は、全理工学部生を対象とするために 2023 年度以前入学生にも遡及適用を行うとともに、他学部履修対象科目とすることにより全学部学生にも開放した。

また、他大学履修制度を整備し、2024 年度入学生から、お茶の水女子大学と単位互換を開始した。同制度を利用し、新設した 4 科目についても、お茶の水女子大学学生にも開放した。



## 2. 新たな実践的な学びの場の創出

これまで国際交流スペース「グローバルラウンジ」およびアントレプレナーシップやグローバルイノベーションの拠点「グローバルイノベーション・ベース」として活用してきた後楽園キャンパス 6 号館 7 階 6707 号室について、2023 年 12 月に、後楽園キャンパスにおける D&I 教育・支援のための場所「[後楽園ダイバーシティラウンジ](#)」に改修した。D&I 教育・支援のためにも活用するため、机・椅子等の什器はアクティブラーニングやグループワークに利用できる可動式のものにリプレースした。また、2024 年度からの D&I 関連科目の授業時間外学修を促進するための教材として、D&I の 3 領域に関連する書籍（マンガ含む）や視聴覚資料（映画 DVD 等）を閲覧（6707 号室内のみ）できる体制を整備した。



## 3. 各種イベントの開催

### (1) ウェルカムデー・イベント

後楽園ダイバーシティラウンジのリニューアルに伴い、2024 年 1 月 22 日および 29 日に、6707 号室で「ウェルカムデー・イベント」を開催した。

### (2) [記念シンポジウム](#)

2024 年度からの「理工 D&I 教育」プログラムの本格始動に先立ち、2024 年 3 月 14 日に後楽園キャンパス 3 号館小ホールで、記念シンポジウム「理工 D&I 教育がひらく未来」を開催した。シンポジウムでは、D&I の 3 領域（ジェンダー・セクシュアリティ領域、障害領域、グローバル領域）に関する基調講演や、3 機関（中央大学、お茶の水女子大学、文京区）の D&I の取り組み紹介、理工学部で新設される D&I 関連科目の説明を行った。学外からの講演者として、東京大学大学院 総合文化研究科教授の四本裕子氏、お茶の水女子大学 理事・副学長の加藤美砂子氏、文京区議会議員・中央大学評議員の吉村美紀氏が登壇し、本学学生・教職員および他大学学生・教職員を含む一般から多くの参加があった（関係者を除き約 60 名）。

参加者へのアンケート結果は、「全体の印象・満足度」について「大変良かった」が 69%、「良かった」が 31%、アンケート回答者全員から「来年度のシンポジウムにも参加したい」の回答を得るなど好評であった。また、シンポジウム終了後には、登壇者、関係者、学生も含めて懇親会を行った。

中央大学 2023年度事業ダイバーシティ推進委員会報告書

# 理工D&I教育がひらく未来

(D&I)  
中央大学理工学部における  
ダイバーシティ・インクルージョン

教育の新たな展開と実践的インクルーシブな学びの場の創出

**日時**  
2024年3月14日(木)  
13:30~17:05 (13.00開場)

**場所**  
中央大学  
後楽園キャンパス  
3号館3階 小ホール

**対象**  
中央大学学生・教職員、附属校生徒・教職員、一般

**プログラム(敬称略)**

13:30~13:35	開会挨拶 佐藤 雅博 (理事)
	祝辞 佐藤 雅博 (理事)
13:35~15:05	基調講演 高野 新一 (理事) 特別 渡辺・高野 幸希 (理事)
15:15~16:15	D&I 概観紹介 山村 美樹 (学務部長)、別所 孝裕 (工学部長)、長尾 俊博 (理事)
16:15~16:45	新設 D&I 科目紹介 茶田 典一 (副学長)、丸木 はるか (理事)
16:45~17:00	質疑応答
17:00~17:05	閉会挨拶 佐藤 雅博 (理事)

司会進行：山崎 雄次 (理事)

参加無料・事前申込不要です。  
ふるってご参加ください。

主催：中央大学理工学部 後援：中央大学ダイバーシティセンター  
お問い合わせ：中央大学ダイバーシティセンター TEL: 03-3512-1117 E-mail: div@prog.ucl.ac.jp




### (3) D&I 教職員対象研修会

2023年12月14日開催の第3回理工学部・理工学研究科FD研修会において、本取組における教職員対象研修会という位置づけにて、車椅子で学生生活を送っている在學生による講演を実施した。後楽園キャンパス内のバリアフリー化、授業における合理的配慮、および今後のダイバーシティへの対応について、本学教職員が改めて考える良い機会となった。研修会には、理工学部教授会員136名中101名(参加率74%)および理工学部事務室職員のほぼ全員が参加した。

### 4. 「後楽園ダイバーシティラウンジ」へのスピーチプライバシーシステムの導入

「後楽園ダイバーシティラウンジ」では、ラウンジ内の小部屋にて、必要に応じて、ダイバーシティセンターのコーディネーターが学生の相談に応じることができるようにした。ただし、小部屋は消防法の観点から、壁やドアの上部は空いていることから、機密性の高い内容について学生が安心して相談できるよう、スピーチプライバシーシステムを導入した。

このように、2023年度事業の取組では、D&I関連科目群の設置と新たな実践的な学びの場の創出による「理工D&I教育」を推進する体制を整備した。「理工D&I教育」により、建学の精神「實地應用ノ素ヲ養フ」に基づく実践的な知の場を創出し、さらに理工学部ディプロマ・ポリシー(DP)に掲げる理学及び工学についての専門的な学びと合わせて、現代社会が抱える複雑な課題に対して学際的な観点で問題解決することができる人材を養成することを目指している。